

1. 本時の位置付け

本時は、小学校学習指導要領(平成29年告示)及び同解説【社会編】等に記載されている以下の内容の一部と関連します。

展開①	【お金の使い方】 ・食料生産にかかる費用と価格 ・お金の種類 ・契約	第3学年 社会科 (2)ア (ア) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。 (イ) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。 (4)イ (ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。 <内容の取扱い> ・「公共施設」については、市が公共施設の整備を進めてきたことを取り上げること。その際、租税の役割に触れること。 第5学年 社会科 (2)ア (イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。 (2)イ (イ) 生産の高低、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。 (4)ア (イ) 大量の情報や情報通信技術の活用や、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。
展開②	【お金の流れ】 ・税金 ・ものの値段の決まり方	<解説> ・自他の個人情報の保護や適切な扱いが必要であることなどに触れることが大切である。 第6学年 社会科 (1)ア (ア) 日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解すること。 <解説> ・「租税の役割」については、租税が国や県、市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること、それらは主に国民によって納められた税金であることなどを理解できるようにする。 ※本時は、食料生産に携わる人々の価格や費用などに関する工夫や努力についての学習内容を発展させ、第3学年、5学年、6学年の内容と関連させて扱います。

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類1 家計管理」、「分類2 生活設計」、「分類3 金融取引の基本としての素養」、「分類4 金融分野共通」の学習を含んでいます。

2. 本時の目標

- ・ これまでに学習した生産の仕事や販売の仕事に携わる人々の工夫や努力を踏まえ、お金の流れについて理解する。
- ・ ほしいものよりも必要なものに優先してお金を使うことや、お金の得方、得たお金の使い方について理解する。

3. 評価のポイント

- ・ これまでに学習した生産の仕事や販売の仕事に携わる人々の工夫や努力を踏まえ、お金の流れについて理解している。
- ・ ほしいものよりも必要なものに優先してお金を使うことや、お金の得方、得たお金の使い方について理解している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の#は、標準講義資料のスライド番号を示している。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は児童の活動)	指導上の留意点
導入 5分	食料生産にかかる費用と価格	●お米や野菜などの生産物の価格は、生産や流通にかかる費用、働く人々の人件費、需要と供給のバランスなどにより決まっていることを、学習内容を踏まえ振り返るための説明をする。 ●本時の学習について説明する。 農家の人たち、消費者である私たち、どちらにとってもお金をどのように得たり、使ったりしていくかはとても重要でした。今日は、私たちの暮らしの中のお金のことについて学びましょう。	・第3学年の地域の商店や農家の人たちの仕事における、消費者の願いと生産者・販売者の工夫について触れる。
展開① 20分	お金の使い方を考えよう	●本時の学習及び日本で流通しているお金の種類について説明する。(＃1～6) ○日頃使っているお金の種類について振り返る。 「ほしいもの」と「必要なもの」は、どのように考えて買うのがよいのでしょうか。(＃7～11) ●「ほしいもの」と「必要なもの」をどのように買うのがよいか考えさせた後に発表させる。(＃7～9) ○おこづかい1000円で何を買うか考える。(＃7) ○買うものを発表する。(＃8) ○「ほしいもの」と「必要なもの」という視点で、買うものについて見直す。(＃9) ●おこづかい帳をつけてみましょう。(＃7～11) ●おこづかい帳のつけかた、使い方を説明し、児童がお金の使い方を管理する必要性について気付くことができるようにする。 ○おこづかい帳の記載例を見て、「ほしいもの」と「必要なもの」の視点から考えたことを発表する。(＃10) ○お金の適切な使い方について考える。(＃11) ●契約について説明する。(＃12～13)	・＃6は、発展的な学習内容であるため、概要のみの説明でよい。 ・＃12～13は、発展的な学習内容であるため、概要のみの説明でよい。
展開② 15分	お金の流れを知ろう	大人は、お金をどのようにして手に入れるのか考えましょう。(＃15～19) ●大人は、どのようにしてお金を手に入れているのかこれまでの学習を踏まえながら、考えさせる。(＃15～19) ○自分がどのような場面でお金を使っているかを考えることで、大人がどのようにお金を手に入れているかを考える。(＃15～19)	・商店のしごと(第3学年)、公共施設の整備と租税の働き(第3学年)、警察・消防のしごと(第4学年)の学習内容を振り返る説明をし、考えさせるとよい。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は児童の活動)	指導上の留意点
		ものの値段の決め方について考えましょう。 (#20~22) ●ものの値段はどのように決まるかについて説明する。(#20) ○クイズ(ケーキが売れない)について考える。(#21~22)	・導入で扱った、食料生産に携わる人々の働きと生産物の価格の決め方について触れて考えさせるとよい。
まとめ 5分	学習のまとめ	今日の学習について、振り返りましょう。 ●本時の学習についてまとめる。 ○お金の手に入れ方、使い方、その際に気を付けることなどの視点から、本時の学習で学んだことをワークシートに記入する。	・次時を連続して行う場合は、ここでの振り返りを省略し、第2時の最後に行ってもよい。

5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート

身近なお金について考えてみよう①

年 組 番

名前

1. おこづかい1000円で何を買う？

買うもの	値段
えんぴつ	200
消しゴム	100
ジュース	200
アイス	400
ポテトチップス	200

3年生 ① みんなは何を買う？

○ おこづかい1000円で何を買うか、計画を立ててみよう。

ポイント！勉強のために必要なえんぴつと消しゴムは、かならず買いましょう。


¥200


¥100


¥200


¥200


¥100


¥300


¥400


¥500


¥500


¥5000

お金を使うときのポイント

必要なものを買った後で、ほしいものの中でも特にほしいものを買うようにする。

2. クイズ(契約って？)

自分の答え

考えた答えを記入

クイズの答え

②

3. クイズ(ケーキを買ったお金はどこへ？)

自分の答え

考えた答えを記入

クイズの答え

①～④全部

4. クイズ(ケーキが売れない)

自分の答え

考えた答えを記入

クイズの答え

①と③

5. ふりかえり

大人は人の役に立つことをしたり、人をよろこばせることをしたりして働いてお金を手に入れていること、学校の先生や警察官、消防士は、みんなから集めた税金で給料を得ていること、お金には現金だけでなく、電子マネーや○○ペイなどもあることなどが分かりました。

使えるお金は限られているので、まず必要なものを買い、その後でほしいものの中でも本当にほしいものを買うようにしたいと思います。

身近なお金について考えてみよう①

年 組 番	名前
-------	----

1. おこづかい1000円で何を買う？

買うもの	値段



お金を使うときのポイント

2. クイズ(契約^{けいやく}って?)

自分の答え

クイズの答え

3. クイズ(ケーキを買ったお金はどこへ?)

自分の答え

クイズの答え

4. クイズ(ケーキが売れない)

自分の答え

クイズの答え

5. ふりかえり